

沖縄県(都道府県部門)が4年連続、愛知県長久手市(市部門)が3年連続1位！ 人が集まる場の活気が地域元気の秘訣！ 全国「地域元気指数調査2018」発表

株式会社アール・ピー・アイ(所在地：千代田区 代表取締役：長澤 博英)は全国約10万人の20～69歳の男女を対象に、**住民自身が地域の元気度合いを評価する「全国『地域元気指数調査』」**を2015年から実施しており、今年度で4年目になります。

地域元気指数とは、地域の総合的な元気度及び、元気の源となる47の評価要素を数値化したものです。これによって、全国の都道府県別・市町村別の元気度や元気の評価要素を共通のモノサシで測定することができます。また自己・他者評価として住みやすさ、土地柄など30項目をリサーチしました。県民性、地方の特長の一端がうかがえる結果となりました。

本調査は地域元気指数を定点調査しつつ、行政や住民自らが地域の元気を増幅することのできる施策や取り組みを明らかにし、地域の元気や個人の幸福度を高めることを目指しています。

【調査サマリー】

■ **地域元気指数(都道府県部門) トップ10では、沖縄県と東京都が同ポイントで第1位。増減では宮崎県が第1位。**

全都道府県における地域元気指数トップ10は、**沖縄県(6.17)**が昨年に続き1位をキープ、**東京都(6.17)**は昨年2位から1位に返り咲いた(一昨年1位)。一方、昨年からの増減では、**宮崎県(0.21増)**が1位、**熊本県(0.20増)**が2位、**福島県(0.18増)**が3位。復興と特徴を活かした地域づくりが地域元気を上昇させたと考えられる。

■ **市部門は愛知県長久手市が3年連続第1位。町村部門では沖縄県北谷町が初の第1位。**

市部門(605市平均5.77)地域元気指数トップ10では、**愛知県長久手市(7.60)**が堂々の3年連続1位、昨年の7.21から0.39ポイント上昇。3位の**沖縄県石垣市(6.94)**、5位の**神奈川県海老名市(6.81)**などが順位・地域元気指数ともに大きく上昇。

町村部門(237町村平均5.50)地域元気指数トップ10では、**1位が沖縄県北谷町(7.35)**で昨年2位からトップ、**2位福岡県新宮町(7.32)**、**3位沖縄県南風原町(7.26)**。トップ10に沖縄県から5町村がランクインし、都道府県、市町村ともに、沖縄が目立つ結果となった。

■ **「交通基盤が整っている」「にぎやかで楽しい」「活力がある」は、自己評価・他者評価が比較的一致。「食べ物がおいしい」「人が優しい」は一致度が低く、県民性がうかがえる結果に。**

県民性の主観・客観性を図る質問では、「交通基盤が整っている」「にぎやかで楽しい」「活力がある」などは自己評価・他者評価の一致度が高く、「食べ物がおいしい」「人が優しい」「地域の人のつながりが強い」などは自己評価・他者評価の一致度が低い結果となった。

■ **ヒト・モノの流動と人が集まる場所の活気が、地域の元気を支えている。**

地域元気指数が高い市町村は、「新しいものを受け入れる風土がある」「地域に楽しめる場所がある」「地域内で若い人の姿を多く見かける」「地元で買い物をする人が多い」「再開発などで街が変化し地域が魅力的になった」などの割合が高く、これらが地域の元気をつくる要因となっていると考えられる。総じて、商店街や集客施設等、人が集まる場の活気が、地域の元気を支えている結果になった。

本リリースの調査データを以下にアップしております。

http://www.rpi.co.jp/genki/2018_tiikigenki.pdf

●全国「地域元気指数調査2018」に関するお問い合わせ

株式会社アール・ピー・アイ 東京都千代田区神田神保町2-38 いちご九段ビル3階
E-mail: genki@rpi.co.jp 電話: 03-5212-3411

地域を元気にしたい。
RPI Regional
Planning
Institute

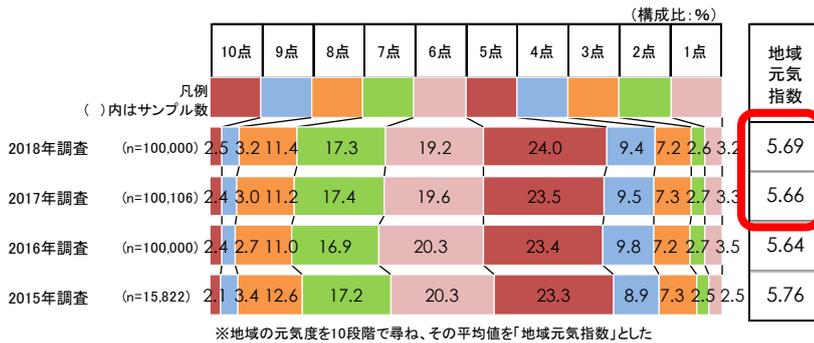
1. 地域元気指数と幸せ指数

今、日本の地域元気指数は5.69と中位で、前年よりはやや回復。個人の幸せ感は6.13で、同様にやや回復。

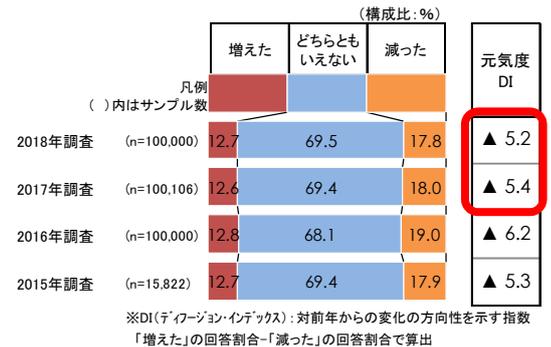
2018年、日本の地域元気指数（10段階評価）は5.69（全国平均）で中位の状態にあり、昨年の5.66から0.03ポイント上昇、DI※も-5.2ポイントで昨年よりも0.2ポイント回復した。一方、個人の幸せ感は6.13で、昨年の6.11から0.02ポイント上昇、DIも4.1ポイントで昨年よりも2.2ポイント回復した。

地域の元気度と個人の幸せ感の関係においては、地域の元気度が高いと、個人の幸せ感も高い傾向となることが明らかになった。

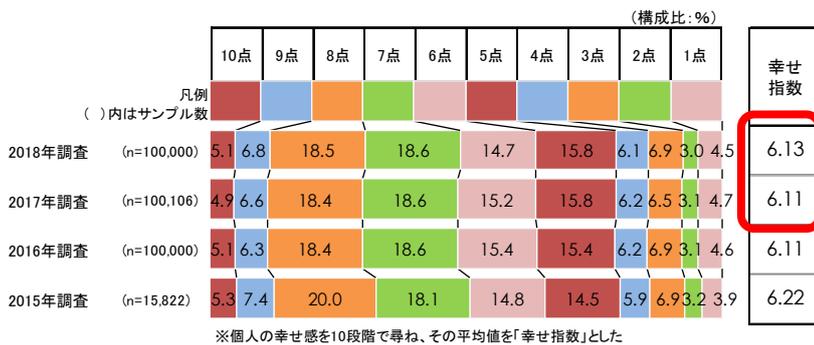
■ 地域の元気度（単一回答）



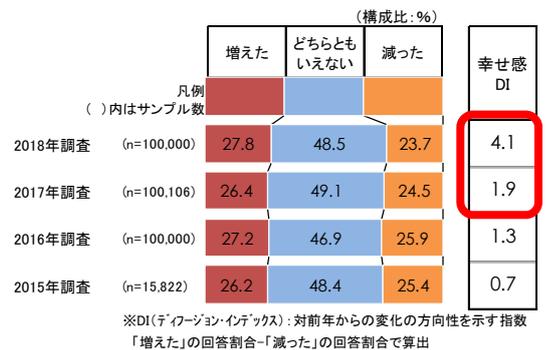
■ 地域の元気度の前年比（単一回答）



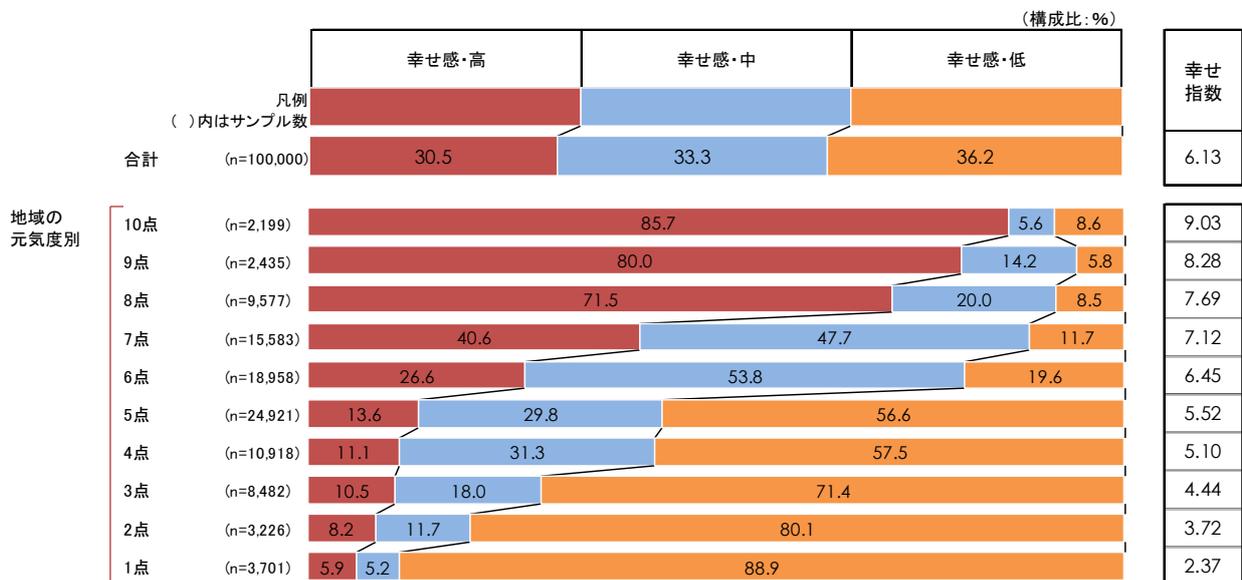
■ 個人の幸せ感（単一回答）



■ 個人の幸せ感の前年比（単一回答）



■ 地域の元気度別 個人の幸せ感（単一回答）



2. 都道府県別・市町村別 地域元気指数

全国「地域元気調査2018」

地域元気指数の都道府県トップ10は、沖縄県と東京都が第1位。増減では宮崎県が第1位。

全都道府県における地域元気指数トップ10は、沖縄県（6.17）が昨年に続き1位をキープ、東京都（6.17）は昨年2位から1位に返り咲いた（一昨年1位）。3位は神奈川県（6.02）で昨年順位を保持。一方、昨年から増減では、宮崎県（0.21増）が1位、熊本県（0.20増）が2位、福島県（0.18増）が3位。

市部門は愛知県長久手市が堂々の3年連続第1位。

市部門（605市平均5.77）地域元気指数トップ10では、愛知県長久手市（7.60）が堂々の3年連続1位、昨年の7.21から0.39ポイント上昇。3位の沖縄県石垣市（6.94）、5位の神奈川県海老名市（6.81）などが順位・地域元気指数ともに大きく上昇。

町村部門は沖縄県北谷町が第1位、福岡県新宮町が第2位。沖縄県の町村が躍進。

町村部門（237町村平均5.50）地域元気指数トップ10では、1位が沖縄県北谷町（7.35）で昨年2位から1位に踊り出た。2位福岡県新宮町（7.32）、3位沖縄県南風原町（7.26）と続き、トップ10に沖縄県から5町村がランクイン（昨年は2町村）。都道府県、市町村ともに、沖縄が目立つ結果となった。

■都道府県別 地域元気指数(上位10)

()内は前年調査結果

順位	都道府県名	サンプル数	地域元気指数
1位 ← (1位)	沖縄県	n=1,350	6.17 ↗ (6.15)
1位 ↗ (2位)	東京都	n=5,518	6.17 ↗ (6.11)
3位 ← (3位)	神奈川県	n=3,208	6.02 ↗ (5.99)
4位 ↗ (8位)	兵庫県	n=4,033	5.94 ↗ (5.80)
5位 ↗ (8位)	愛知県	n=6,726	5.91 ↗ (5.80)
5位 ↗ (4位)	石川県	n=1,169	5.91 ↘ (5.95)
7位 ↘ (5位)	福岡県	n=3,905	5.89 ↘ (5.93)
8位 ↘ (7位)	大阪府	n=6,366	5.87 ↗ (5.81)
9位 ↗ (15位)	熊本県	n=1,045	5.81 ↗ (5.61)
10位 ↗ (11位)	滋賀県	n=1,864	5.76 ↗ (5.68)
全国平均		n=100,000	5.69 ↗ (5.66)

■都道府県別 地域元気指数の増減(上位5)

※増減は「2018年地域元気指数」-「2017年地域元気指数」で算出

順位	都道府県名	サンプル数	増減	2018年	2017年
1位 23位	宮崎県	n=665	0.21 ↗	5.45	5.24
2位 9位	熊本県	n=1,045	0.20 ↗	5.81	5.61
3位 35位	福島県	n=1,377	0.18 ↗	5.24	5.06
4位 13位	宮城県	n=1,880	0.15 ↗	5.64	5.49
5位 4位	兵庫県	n=4,033	0.14 ↗	5.94	5.80
全国平均		n=100,000	0.03 ↗	5.69	5.66

■市別 地域元気指数(上位10)

()内は前年調査結果

順位	市町村名	サンプル数	地域元気指数	市町村規模
1位 ← (1位)	愛知県長久手市	n=160	7.60 ↗ (7.21)	5~10万人未満の市
2位 ↗ (4位)	千葉県浦安市	n=217	6.97 ↗ (6.60)	10~30万人未満の市
3位 ↗ (21位)	沖縄県石垣市	n=62	6.94 ↗ (6.39)	5万人未満の市
4位 ↗ (12位)	兵庫県西宮市	n=235	6.87 ↗ (6.52)	30万人以上の市
5位 ↗ (25位)	神奈川県海老名市	n=196	6.81 ↗ (6.34)	10~30万人未満の市
6位 ↘ (2位)	東京都武蔵野市	n=244	6.79 ↗ (6.77)	10~30万人未満の市
7位 ↗ (8位)	沖縄県豊見城市	n=81	6.75 ↗ (6.56)	5~10万人未満の市
8位 ↘ (3位)	宮城県富谷市	n=112	6.72 ↗ (6.67)	5~10万人未満の市
9位 ↘ (8位)	石川県野々市市	n=129	6.70 ↗ (6.56)	5~10万人未満の市
10位 ↗ (18位)	千葉県印西市	n=202	6.66 ↗ (6.42)	5~10万人未満の市
ランキング対象「市」平均		n=78,420	5.77 ↗ (5.75)	

■町村別 地域元気指数(上位10)

()内は前年調査結果

順位	市町村名	サンプル数	地域元気指数
1位 ↗ (2位)	沖縄県北谷町	n=39	7.35 ↗ (7.09)
2位 ↘ (1位)	福岡県新宮町	n=88	7.32 ↗ (7.15)
3位 ↗ (6位)	沖縄県南風原町	n=50	7.26 ↗ (6.69)
4位 ↗ (16位)	熊本県菊陽町	n=75	6.90 ↗ (6.28)
5位 ↗ (21位)	沖縄県西原町	n=38	6.76 ↗ (6.24)
6位 ↗ (7位)	静岡県長泉町	n=80	6.66 ↗ (6.60)
7位 ↗ (14位)	福岡県那珂川町	n=112	6.65 ↗ (6.32)
8位 -	沖縄県中城村	n=21	6.64 -
9位 ↗ (47位)	北海道倶知安町	n=24	6.63 ↗ (5.94)
10位 ↗ (11位)	沖縄県与那原町	n=21	6.62 ↗ (6.44)
ランキング対象「町村」平均		n=10,300	5.50 ← (5.50)

※ランキング対象市町村の基準

○市: サンプル数が50件以上かつ人口3万人以上

○町村: サンプル数が20件以上かつ人口1万人以上

※東京特別区部は、一体でカウント

※人口規模は、平成27年国勢調査時点での人口で分類

■ランキング対象市町村数(2018年12月1日時点)

○市: 605(全市の76.5%)

○町村: 237(全町村の25.6%)

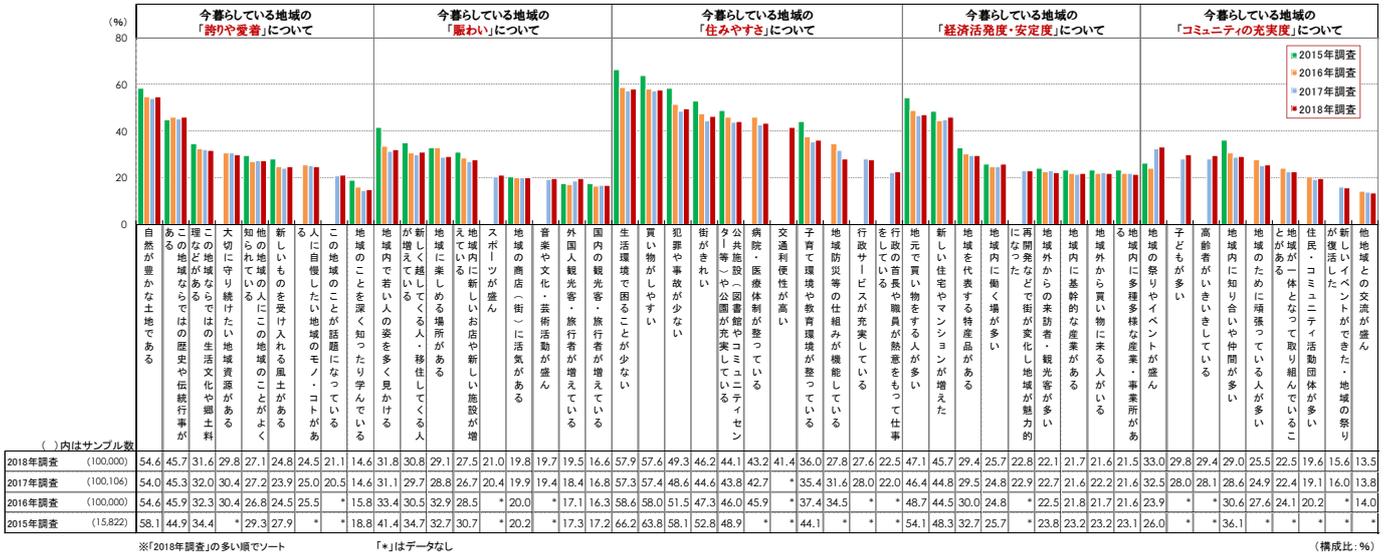
計: 842市町村

3. 地域元気の評価要素

ヒト・モノ・カネの流動と人が集まる場所の活気が、地域の元気を支えている。

地域元気指数が高い市町村の理由を47要素に分けて調査し、秘訣を探った。「新しいものを受け入れる風土がある」「地域に楽しめる場所がある」「地域内で若い人の姿を多く見かける」「地元で買い物をする人が多い」「再開発などで街が変化し地域が魅力的になった」などの割合が高く、これらが地域の元気を支える要因となっていると考えられる。総じて、商店街や集客施設等、人が集まる場の活気が、地域の元気を支えている結果となった。

■ 地域元気の評価47要素（それぞれ単一回答／「当てはまる」「やや当てはまる」の合計）



■ 主要要素別 市町村ランキング(上位5) (それぞれ単一回答／「当てはまる」「やや当てはまる」の合計)

※「地域元気ランキング」上位の市町村が上位にあげられた要素を掲載

視点1「誇りや愛着」要素9：新しいものを受け入れる風土がある

順位	市町村名	サンプル数	「当てはまる」割合	地域元気ランキング	市町村規模
1位	沖縄県北谷町	n=39	74.3	町村 1位	町村
2位	北海道倶知安町	n=24	65.9	町村 7位	町村
3位	福岡県新宮町	n=88	62.7	町村 2位	町村
4位	北海道北広島市	n=145	60.1	市 51位	5~10万人未満の市
5位	宮城県富谷市	n=112	58.0	市 8位	5~10万人未満の市
全国平均		n=100,000	24.8	(23.9)	-

視点2「賑わい」要素1：地域の商店（街）に活気がある

順位	市町村名	サンプル数	「当てはまる」割合	地域元気ランキング	市町村規模
1位	沖縄県石垣市	n=62	65.5	市 3位	5万人未満の市
2位	熊本県菊陽町	n=75	63.6	町村 4位	町村
3位	沖縄県北谷町	n=39	61.3	町村 1位	町村
4位	愛知県長久手市	n=160	57.8	市 1位	5~10万人未満の市
5位	東京都武蔵野市	n=244	56.3	市 6位	10~30万人未満の市
全国平均		n=100,000	19.8	(19.9)	-

視点2「賑わい」要素2：地域に楽しめる場所がある

順位	市町村名	サンプル数	「当てはまる」割合	地域元気ランキング	市町村規模
1位	沖縄県北谷町	n=39	81.2	町村 1位	町村
2位	福岡県新宮町	n=88	74.4	町村 2位	町村
3位	沖縄県南風原町	n=50	71.3	町村 3位	町村
4位	愛知県長久手市	n=160	70.0	市 1位	5~10万人未満の市
5位	千葉県浦安市	n=217	68.2	市 2位	10~30万人未満の市
全国平均		n=100,000	29.1	(28.8)	-

視点2「賑わい」要素6：地域内で若い人の姿を多く見かける

順位	市町村名	サンプル数	「当てはまる」割合	地域元気ランキング	市町村規模
1位	愛知県長久手市	n=160	85.0	市 3位	5~10万人未満の市
2位	福岡県新宮町	n=88	82.7	町村 2位	町村
3位	沖縄県北谷町	n=39	79.9	町村 1位	町村
4位	神奈川県開成町	n=20	70.4	町村 13位	町村
5位	千葉県浦安市	n=217	70.0	市 2位	10~30万人未満の市
全国平均		n=100,000	31.8	(31.1)	-

視点3「住みやすさ」要素2：買い物しやすい

順位	市町村名	サンプル数	「当てはまる」割合	地域元気ランキング	市町村規模
1位	福岡県新宮町	n=88	89.1	町村 2位	町村
2位	沖縄県南風原町	n=50	88.3	町村 3位	町村
3位	沖縄県北谷町	n=39	85.8	町村 1位	町村
4位	愛知県長久手市	n=160	85.7	市 1位	5~10万人未満の市
5位	沖縄県与那原町	n=21	82.0	町村 10位	町村
全国平均		n=100,000	57.6	(57.4)	-

視点4「経済活発度・安定度」要素1：地元で買い物をする人が多い

順位	市町村名	サンプル数	「当てはまる」割合	地域元気ランキング	市町村規模
1位	福岡県新宮町	n=88	81.6	町村 2位	町村
2位	熊本県菊陽町	n=75	79.6	町村 4位	町村
3位	沖縄県南風原町	n=50	76.0	町村 3位	町村
4位	東京都武蔵野市	n=244	73.5	市 6位	10~30万人未満の市
5位	愛知県長久手市	n=160	73.2	市 1位	5~10万人未満の市
全国平均		n=100,000	47.1	(46.4)	-

視点4「経済活発度・安定度」要素9：再開発などで街が変化し地域が魅力的になった

順位	市町村名	サンプル数	「当てはまる」割合	地域元気ランキング	市町村規模
1位	福岡県新宮町	n=88	75.9	町村 2位	町村
2位	沖縄県北谷町	n=39	74.5	町村 1位	町村
3位	沖縄県南風原町	n=50	71.4	町村 3位	町村
4位	愛知県長久手市	n=160	67.2	市 1位	5~10万人未満の市
5位	神奈川県海老名市	n=196	62.5	市 5位	10~30万人未満の市
全国平均		n=100,000	22.8	(22.9)	-

視点5「コミュニティの充実度」要素8：子どもが多い

順位	市町村名	サンプル数	「当てはまる」割合	地域元気ランキング	市町村規模
1位	沖縄県石垣市	n=62	80.8	市 3位	5万人未満の市
2位	福岡県新宮町	n=88	77.6	町村 2位	町村
3位	沖縄県南風原町	n=50	77.5	町村 3位	町村
4位	沖縄県中城村	n=21	76.9	町村 8位	町村
5位	愛知県長久手市	n=160	74.9	市 1位	5~10万人未満の市
全国平均		n=100,000	29.8	(28.0)	-

4. 都道府県別 自己評価と他者評価

「交通基盤が整っている」「にぎやかで楽しい」「活力がある」は、自己評価・他者評価が比較的一致。

県民性の主観・客観性を図る質問では、「交通基盤が整っている」「にぎやかで楽しい」「活力がある」などで自己評価・他者評価の一致度が高く、「食べ物がおいしい」「人が優しい」「地域の人のつながりが強い」などは自己評価・他者評価の一致度が低かった。
 総じて、県民性として賑わいや活気を表す質問の一致度が高かった。

●自己評価と他者評価 評価項目

1	観光客がたくさん訪れている	2	住みやすい	3	1次産業（農林水産業）が盛ん	4	食べ物がおいしい	5	人が優しい	6	都会である	7	田舎である	8	自然が豊かである	9	歴史がある	10	交通基盤が整っている	11	地域ならではのものが多くある	12	知的好奇心を刺激される	13	地域の人のつながりが強い	14	清潔さや美しさが保たれている	15	街並みが美しい	16	気候がよい	17	にぎやかで楽しい	18	安全である	19	災害対策がしっかりしている	20	活力がある	21	親しみが持てる	22	洗練されている	23	伝統産業が盛ん	24	文化・芸術活動が盛ん	25	スポーツが盛ん	26	子育て環境が整っている	27	教育に力を入れている	28	若者が活躍しやすい環境が整っている	29	高齢者福祉が充実している	30	国際性がある
---	---------------	---	-------	---	----------------	---	----------	---	-------	---	-------	---	-------	---	----------	---	-------	----	------------	----	----------------	----	-------------	----	--------------	----	----------------	----	---------	----	-------	----	----------	----	-------	----	---------------	----	-------	----	---------	----	---------	----	---------	----	------------	----	---------	----	-------------	----	------------	----	-------------------	----	--------------	----	--------

- ✓右の30項目について、それぞれ5段階（「そう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」）で評価
- ✓自己評価は、その都道府県の居住者が評価
- ✓他者評価は、居住している都道府県以外の都道府県をランダムに表示して評価

■都道府県別 自己評価と他者評価＜主なもの＞（上位5都道府県） （それぞれ単一回答／「そう思う」「ややそう思う」の合計）

自己・他者評価が比較的一致

【観光客がたくさん訪れている】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	沖縄県 n=1,350	55.9	1位 ↘ (2位)	京都府 n=315	95.2
2位 ← (2位)	京都府 n=2,068	47.2	2位 ↘ (8位)	沖縄県 n=211	93.4
3位 ← (3位)	石川県 n=1,169	43.5	3位 ↘ (1位)	北海道 n=820	92.9
4位 ← (4位)	北海道 n=5,066	40.9	4位 ↘ (3位)	大阪府 n=965	90.7
5位 ↘ (9位)	鹿児島県 n=1,069	39.3	5位 ↘ (4位)	東京都 n=916	89.1

【交通基盤が整っている】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	東京都 n=5,518	61.2	1位 ← (1位)	東京都 n=916	87.4
2位 ← (2位)	大阪府 n=6,366	57.9	2位 ↘ (4位)	大阪府 n=965	82.2
3位 ↘ (4位)	兵庫県 n=4,033	54.2	3位 ← (3位)	神奈川県 n=527	73.8
4位 ↘ (3位)	神奈川県 n=3,208	53.2	4位 ↘ (5位)	福岡県 n=589	66.8
5位 ← (5位)	京都府 n=2,068	49.9	5位 ↘ (9位)	兵庫県 n=615	64.4

【にぎやかで楽しい】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	沖縄県 n=1,350	36.0	1位 ← (1位)	大阪府 n=965	83.4
2位 ← (2位)	東京都 n=5,518	31.2	2位 ← (2位)	東京都 n=916	74.2
3位 ← (3位)	福岡県 n=3,905	29.2	3位 ↘ (7位)	神奈川県 n=527	71.1
3位 ↘ (4位)	神奈川県 n=3,208	29.2	4位 ↘ (3位)	福岡県 n=589	67.7
5位 ← (5位)	兵庫県 n=4,033	26.6	5位 ↘ (6位)	沖縄県 n=211	62.5

【活力がある】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	沖縄県 n=1,350	39.0	1位 ← (1位)	大阪府 n=965	84.3
2位 ← (2位)	東京都 n=5,518	34.2	2位 ↘ (3位)	東京都 n=916	81.8
3位 ↘ (5位)	福岡県 n=3,905	33.3	3位 ↘ (8位)	沖縄県 n=211	63.9
4位 ↘ (10位)	京都府 n=2,068	32.8	4位 ← (4位)	福岡県 n=589	61.7
5位 ↘ (3位)	神奈川県 n=3,208	31.4	5位 ← (5位)	神奈川県 n=527	58.3

自己・他者評価が比較的不一致

【食べ物がおいしい】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	山形県 n=1,288	75.3	1位 ← (1位)	北海道 n=820	93.0
2位 ↘ (4位)	福井県 n=840	72.0	2位 ↘ (10位)	福岡県 n=589	76.6
3位 ↘ (7位)	新潟県 n=1,772	69.3	3位 ↘ (18位)	熊本県 n=158	73.4
4位 ↘ (3位)	宮城県 n=665	69.1	4位 ↘ (2位)	秋田県 n=210	72.0
5位 ↘ (9位)	青森県 n=1,276	68.8	5位 ↘ (4位)	大阪府 n=965	71.5

【人が優しい】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	宮城県 n=665	63.3	1位 ↘ (3位)	沖縄県 n=211	78.8
2位 ↘ (7位)	鹿児島県 n=1,069	57.3	2位 ↘ (7位)	青森県 n=192	70.6
3位 ↘ (2位)	島根県 n=605	57.2	3位 ↘ (8位)	福島県 n=198	70.5
4位 ↘ (12位)	熊本県 n=1,045	57.0	4位 ↘ (1位)	秋田県 n=210	68.1
5位 ← (5位)	岩手県 n=1,321	56.0	5位 ← (5位)	新潟県 n=277	67.9

【地域の人のつながりが強い】

自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	島根県 n=605	45.3	1位 ↘ (2位)	沖縄県 n=211	78.8
2位 ↘ (8位)	福井県 n=840	41.7	2位 ↘ (3位)	青森県 n=192	78.2
3位 ↘ (7位)	鹿児島県 n=1,069	41.3	3位 ↘ (8位)	熊本県 n=158	69.8
4位 ← (4位)	長野県 n=2,314	40.8	4位 ↘ (1位)	秋田県 n=210	66.2
5位 ↘ (2位)	山形県 n=1,288	40.6	5位 ↘ (16位)	福島県 n=198	65.6
			5位 ↘ (18位)	鹿児島県 n=175	65.6

【子育て環境が整っている】

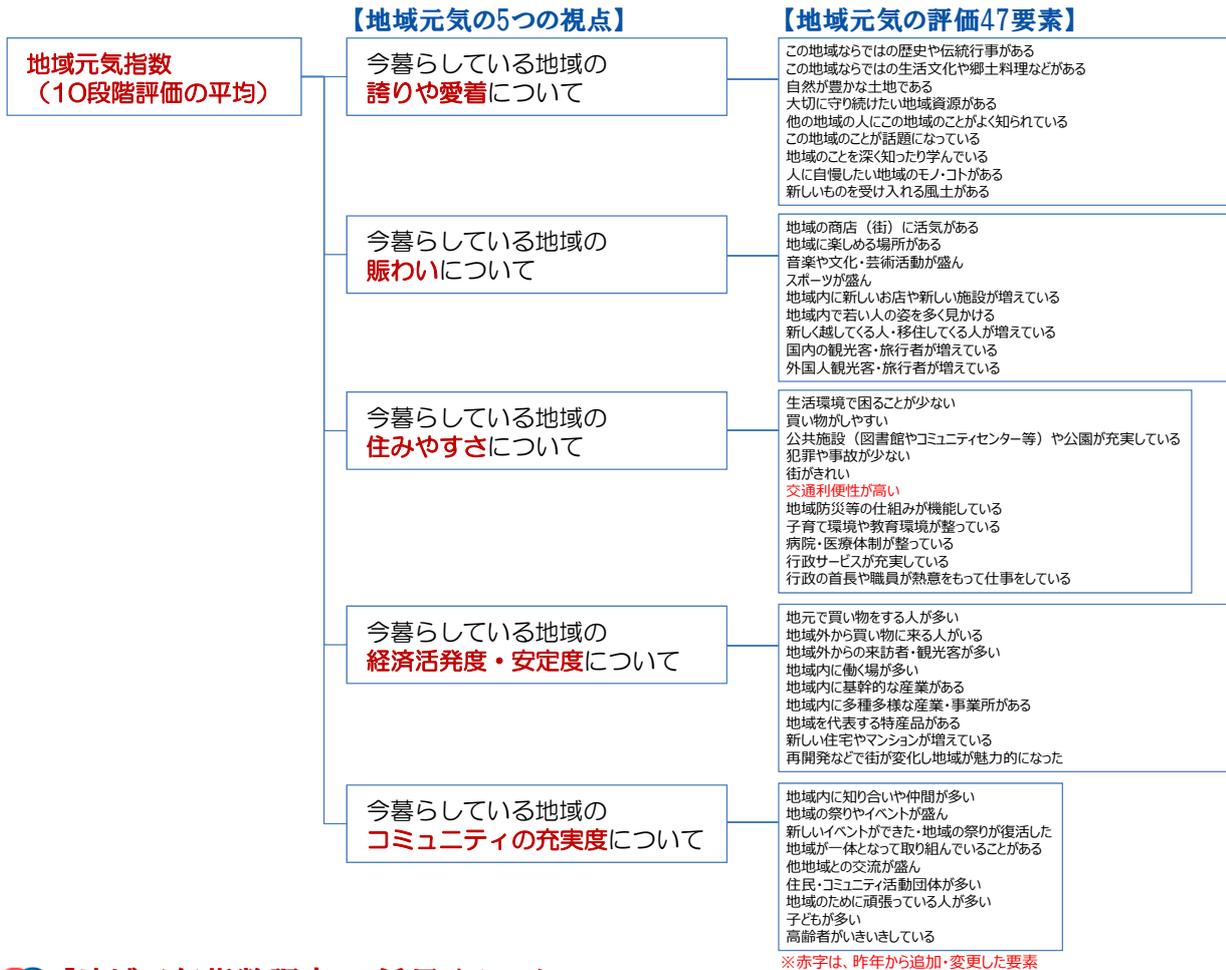
自己評価			他者評価		
順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)	順位 (前年)	都道府県名 サンプル数	そう思う・計 (%)
1位 ← (1位)	福井県 n=840	46.2	1位 ← (1位)	神奈川県 n=527	36.7
2位 ↘ (5位)	東京都 n=5,518	40.8	2位 ↘ (29位)	熊本県 n=158	35.6
3位 ↘ (2位)	石川県 n=1,169	40.3	3位 ↘ (26位)	埼玉県 n=982	34.5
4位 ← (4位)	兵庫県 n=4,033	39.9	4位 ↘ (21位)	宮城県 n=107	33.2
5位 ↘ (3位)	沖縄県 n=1,350	39.0	5位 ↘ (4位)	静岡県 n=420	32.2

調査概要

- 【調査方法】 インターネットによる調査（マクロミルモニター）
- 【調査対象】 全国20～69歳の男女
- 【調査時期】 2018年8月3日～8月20日
- 【サンプル数】 1次調査 100,000人 2次調査 15,534人
- 【集計方法】 平成27年国勢調査市区町村人口に基づき、人口規模30区分×男女×年代3区分＝180区分の人口構成に従ってウェイトバック集計を行った。

「地域元気指数」の構成要素

地域元気指数は、その地域に居住している住民が主観的に自らの地域の元気度合いを10段階で評価した平均値の「地域元気指数」と、地域の元気度合いの要因を詳細に分析する「地域元気の5つの視点」それぞれに「地域元気の評価要素」9～11つ、計47の「地域元気の評価要素」をもって構成されます。



「地域元気指数調査」の活用イメージ

本調査結果は、都道府県別・市町村別にアウトプットし、各地域の地域運営に資する有益なデータとして活用していただきたいと考えております。

例えば、地域元気の評価47要素を詳細に分析することによって、各地域の元気を支える要因や、弱い項目＝地域課題を明らかにし、これからの施策立案や地域住民との相互理解に役立てることができます。

また、経年調査であることから、施策のKPI（重要業績評価指標）のひとつとして、効果検証や進捗管理等への活用も期待できます。

株式会社アール・ピー・アイのご紹介



アール・ピー・アイは「まちづくり」を中心とした、調査・コンサルティング・事業プロデュース・運営サポートを行う会社です。

私たちは地域づくりのさまざまな分野、場面において、地域が抱えるテーマに対し、ともに最適解を導きだし課題を解決する、グッドパートナーとしてチカラになることを目指しています。

私たちは、地域を元気にし、より多くの人々が幸福な生活をおくることのできる地域社会の実現に向けて、これからも労を惜まず、情熱をもって努力し続けます。

※プレスリリースの内容や引用についてのお問い合わせは、株式会社アール・ピー・アイ（電話：03-5212-3411）までお願いいたします。